小売業　◎業況、売上、収益とも悪化傾向が弱まる

＊前期比：ＤＩ・季節調整済

景　況

業況は、燃料小売業で大きく悪化傾向を強め、その他小売業で悪化傾向を強めました。家庭用機械・電化機械器具小売業、スポーツ用品・娯楽用品・玩具小売業は横ばいとなりました。一方、医薬品・化粧品小売業、書籍・文房具小売業、写真機・時計・眼鏡・貴金属小売業、木材・建築材料小売業で大きく悪化傾向を弱め、繊維・衣服身の回り品小売業、飲食料品小売業、自動車・自転車小売業でも悪化傾向を弱めました。全体としては－54と前期比11ポイント悪化傾向を弱めました。売上額は５ポイント、収益は９ポイント減少傾向を弱めました。販売価格は１ポイントわずかに下降傾向を弱め、仕入価格は上昇傾向に転じました。在庫は横ばいとなりました。資金繰りは２ポイント窮屈感が強まりました。残業時間は４ポイント減少傾向を弱め、人手は１ポイントわずかに過剰感が弱まりました。設備の状況は２ポイント不足感を弱め、設備投資を実施した先は車両を中心に14％と横ばいとなりました。

来期の見通し

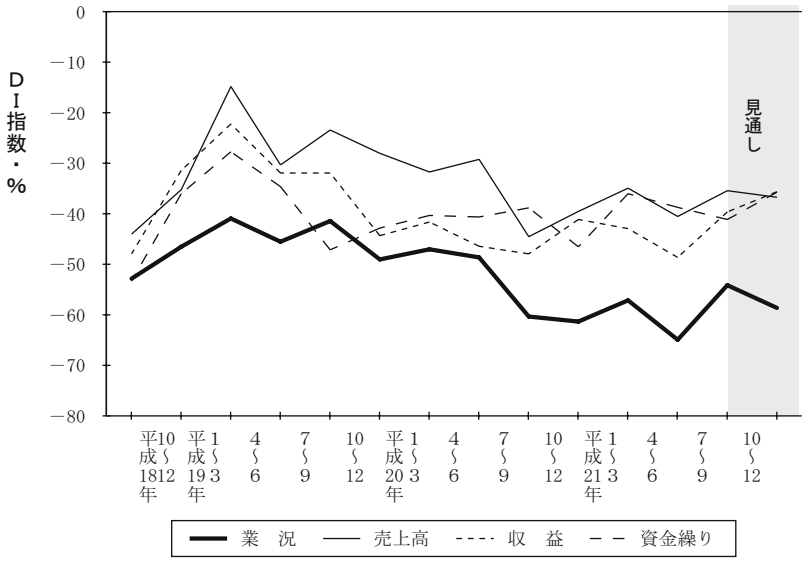
業況は、燃料小売業、その他小売業で悪化傾向を弱め、家庭用機械・電気機械器具小売業、スポーツ用品・娯楽用品・玩具小売業は横ばいとみています。一方、木材・建築材料小売業で大きく悪化傾向を強め、繊維・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業、自動車・自転車小売業、医薬品・化粧品小売業、書籍・文房具小売業、写真機・時計・眼鏡・貴金属小売業で悪化傾向が強まるとみています。全体的には－59と５ポイント悪化傾向を強めそうです。売上額は１ポイントわずかに減少傾向を強め、収益は４ポイント減少傾向を弱めるとみています。価格面では、販売価格は横ばい、仕入価格は下降傾向に転じるとみています。在庫はほぼ適正となりそうです。資金繰りは５ポイント窮屈感が緩和されそうです。残業時間は２ポイント減少傾向が弱まり、人手は２ポイント過剰感が弱まりそうです。設備の状況は３ポイント不足感が強まり、設備投資については、車両を中心に９％が実施予定とし、今期に比べて５ポイント減少するとみています。

調査員のコメント

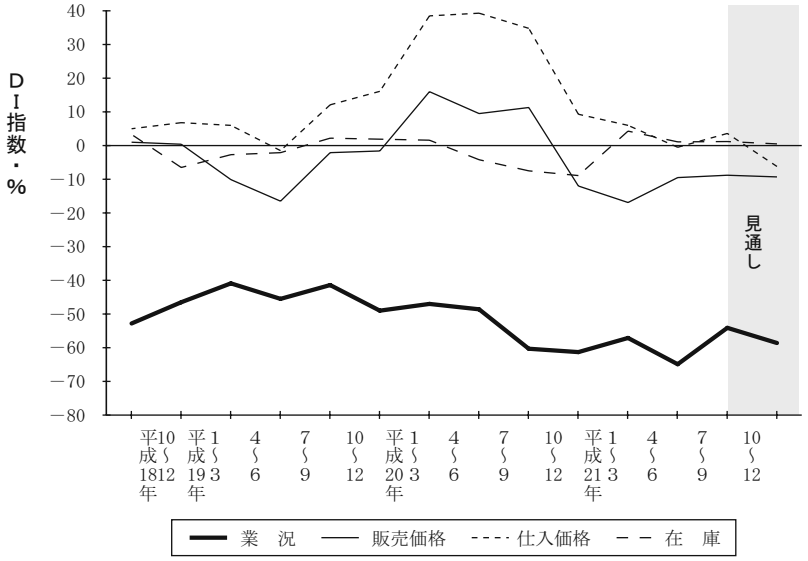
■ エコカー減税、補助金などの制度のおかげもあり、新車購入が例年に比べ増加した。　（自動車販売）

■ 合同プレゼン等に参加し、多くの意見を聞き、社内に持ち帰り、社員全員の取組み、考え方から見直し努力している。
（LPガス・灯油販売）

■景況の推移

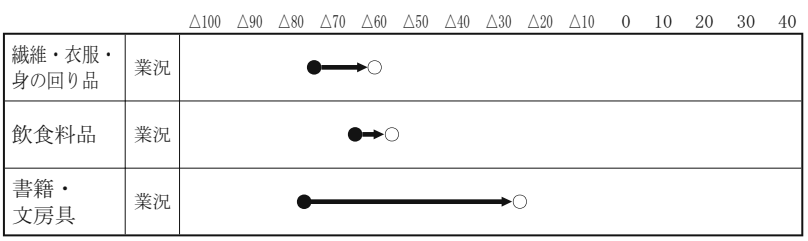


■主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移

○今期(21年７月～９月)／●前期(21年４月～６月)



経営上の問題点			
	1位	売上の停滞・減少(1)	60%
	2位	大型店との競争の激化(2)	34%
	3位	利幅の縮小(4)	32%

当面の重点経営施策			
	1位	経費を節減する(1)	73%
	2位	品揃えを改善する(3)	36%
	3位	売れ筋商品を取り扱う(2)	35%

＊(　)は前回順位